

1. 評価報告概要表

評価確定日 平成21年3月5日

【評価実施概要】

事業所番号	2278300311		
法人名	医療法人社団 明徳会		
事業所名	グループホームいつくしみの郷		
所在地 (電話番号)	浜松市浜北区平口2406-1		(電 話) 053-585-1507

評価機関名	静岡県社会福祉協議会		
所在地	静岡市葵区駿府町1-70		
訪問調査日	平成20年11月27日		

【情報提供票より】(20年 11月 1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 16年 4月 1日		
ユニット数	3 ユニット	利用定員数計 27人	
職員数	22 人	常勤 22人, 非常勤 0 人,	常勤換算 17.4人

(2) 建物概要

建物形態	<input checked="" type="checkbox"/> 併設 / 単独	<input checked="" type="checkbox"/> 新築 / 改築
建物構造	鉄骨造り	
	3 階建ての	1 階 ~ 3 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	50,000 円	その他の経費(月額)	13,000 円
敷 金	有() 円	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有() 円	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	400 円	昼食 500 円
	夕食	500 円	おやつ 100 円
	または1日当たり 1,500 円		

(4) 利用者の概要(11月 1日現在)

利用者人数	26 名	男性 3 名	女性 23 名
要介護1	10 名	要介護2	8 名
要介護3	6 名	要介護4	2 名
要介護5	0 名	要支援2	0 名
年齢	平均 85 歳	最低 75 歳	最高 95 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	協立十全病院
---------	--------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

運営主体が医療法人であり、病院、介護老人保健施設が隣接しているため、医療面でのバックアップ体制ができています。緊急時にもすぐに受診できたり、夜間体制も整っており、利用者や家族の安心につながっている。介護老人保健施設から移られた方が「穏やかになった」との外部からの評価もある。利用者一人ひとりに、食事の準備や後片付け、洗濯や掃除等の役割があり、利用者同士が支え合って生活している。職員は、理念である「気持ちの良い生活」を利用者が送れるよう支援している。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回課題となった洗剤類の配置については、自分で洗濯をする利用者もあり、職員間で注意を払うようにしたり、1階には異食の危険性がある利用者があり、その利用者の視野に入らないよう工夫をした。地域との関わりについても、地域・ホームそれぞれの行事への参加などを通じて交流に努めている。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>職員全体で取り組みをした。職員からは「難しかったが、やってみてよかった」との声が聞かれている。地域との交流が少ないので、今後、認知症の理解が得られるような取り組みを期待する。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>2か月に1度開催している。家族の参加を図るため、夏祭り終了後に開催するなど配慮しているが、参加にはつながらず、課題となっている。また、地域への働きかけとして、認知症ケアのノウハウを伝えていきたいと考えている。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>ホームでの様子は「いつくしみの郷だより」で毎月報告を行い、面会時にも、日ごろの様子を伝えながら要望等を聞くようにしている。介護計画についても説明を行い、了解を得るようにしている。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地域の行事や祭りへ参加したり、ホームでの納涼祭に近隣の方を招待するなど交流に努めている。今後は、非常時の相互協力体制を整えるため、地域への働きかけに取り組まれたい。</p>

2. 評価報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	家庭的な生活を送りながら、認知症の症状を進ませないようにと考えてホームを立ち上げ、理念である「気持ちの良い生活」を大切に、支援している。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念の共有化を図るため、玄関に掲示し、ミーティング等を活用し、職員間で話し合っている。一人ひとりがどうしたら気持ち良く生活できるかを考え、介護計画にも記載し、意識して取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の行事へ参加したり、地域の方をホームの夏祭りへ招待するなど、一緒に楽しんでいる。散歩や、外出時は積極的に挨拶を交わすようにし、自治会にも加入している。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員全員で取り組んでいる。自己評価は、難しいところもあったが、取り組むことで、自分たちの支援やサービスを振り返る良い機会となると、前向きに捉えている。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	浜北区役所担当、地域包括支援センター職員、民生委員、家族等に参加を呼び掛け開催している。家族の参加が少ないことが課題となっているが、行事に合わせて開催するなど工夫している。地域住民からの意見、家族からの要望等を出してもらい、サービスの向上につなげている。	○	家族への働きかけは、行事と一緒に開催する等、直ぐに結果に結びつかなくても、継続されたい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>介護相談員の訪問を受け入れている。運営推進会議への参加もあるが、まだ協力体制は十分ではない。</p>	○	<p>定期的に区役所担当職員と連絡をとり、連携して課題解決に取り組める関係作りを期待する。</p>
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>「いつくしみの郷だより」を毎月発行している。一人ひとりの個人情報に配慮しながら、写真を掲載し、暮らしぶりを伝えている。金銭管理状況の報告も毎月行っている。緊急時には、電話で報告している。</p>		
8	15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>面会時には、個別の対応を行い、家族が要望や意見を出してもらえるよう努めている。利用開始時、苦情相談窓口について説明しているが、苦情が出る前の対応を心がけている。</p>		
9	18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>開設以来、職員の退職は少ない。ユニット間の異動はあるが、全ての利用者を理解できるよう、会議で共有化を図り、利用者への影響を最小限に抑えるよう努めている。</p>		
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>毎月施設内研修を行い、職員が交代で講師を務め、レベルアップを図っている。また新人が業務になじめるよう、研修を検討している。外部研修は、勤務内に参加できるよう、勤務調整を行っている。</p>		
11	20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム協議会主催の施設交流会に、希望職員全員が参加した。他の施設を見学することにより、自施設のサービスについて振り返る機会となっている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	当初は、同一法人の介護老人保健施設からの入所が多かったが、最近は、地域からの入所が多くなっている。入居前に、見学をして、他の利用者と話したり、雰囲気を感じてもらったりしながら、利用開始につなげている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	それぞれができることを役割分担し、職員はさりげなく援助しながら、支えあう関係を築いている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者の動きや表情を観察したり、話を聞きながら、思いや意向を把握している。また、表現が困難な人への対応は、職員間の情報を集めて話し合い、意向の把握に努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者・家族の意向を踏まえ、センター方式を用いて会議で話し合い、介護計画を作成している。解りやすい記入の仕方を心がけ、家族に説明して同意を得ている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月に一度は見直しを行い、評価を行って次の計画につなげている。変化があった場合は、その都度作成している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	行きつけの理・美容院の送迎など、利用者が希望する外出支援を行っている。家族からの希望を受け、病院受診もを行っている。	○	利用者・家族の状況を把握し、ニーズに応じた新たなサービスの提案にも繋がりたい。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時、かかりつけ医について説明を行い、希望に沿って決定している。ホーム側で受診を行った場合は、受診時の情報を記録して、家族に報告している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	家族との話し合いを行い、今後の方針を決めている。病院との連携が取れるので、病院でのターミナルを望まれる方も多いが、ホームで生活できる間は継続して支援している。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員は、一人ひとりに合った言葉かけを行ったり、書類等の管理にも十分注意している。訪問調査時も、承諾を得ながら、居室を見学するなど、プライバシーに配慮する姿勢が見られた。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日々の日課や、職員の都合のために、利用者のペースが守られないことのないように、職員間で注意し、より良い方法を検討している。利用者が思い思いの場所で過ごすことができるよう、支援している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事は、法人内の厨房で調理しているので、盛り付けを利用者と一緒に行ったり、週に2回は、希望を聞きながら、利用者、職員と一緒に食事作りを行っている。外食に出かける時は、家族にも参加していただけるよう予定を知らせている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	職員の介助は拒まれる方もいるので、最低限の見守りをしたり、必要に応じた介助を行っている。就寝前の入浴を楽しむ人もいるので、希望に沿った支援に努めている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入所時のアセスメントから、一人ひとりの得意とすることや趣味を把握し、食事の準備、後片付け、洗濯、掃除などそれぞれが役割を持って職員と一緒に行動することで、張り合いと喜びにつなげている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	外食や散歩等、外出の機会を行事として企画し、利用者も楽しみにしている。また、外出の希望のない人が閉じこもることのないよう、外気に触れる機会を持つよう心がけている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	ホーム前の道路の交通量が多くなっており、玄関の自動ドアはタッチ式にしている。外出希望を察知し、声掛けをしたり、一緒に出かけたりするようにしている。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年に1度、防災訓練を行っている。訓練により課題が明確になり、連絡網の見直しを行なった。非常時には、隣接の介護老人保健施設からの応援も頼むことができる。	○	近隣住民に、訓練に参加してもらったり、地域の訓練に参加することも検討されたい。訓練を通して、それぞれの相互協力関係の構築を期待する。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士が、献立を立て栄養管理を行っている。食事、水分の摂取量を記録し、職員間で情報を共有している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間は、換気や採光、音量等、心地良い空間となっている。また、利用者それぞれにお気に入りの居場所があり、壁には利用者が作った飾りや写真を貼って、季節感にも配慮している。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	それぞれの居室には、馴染みの家具や、気に入ったものが持ち込まれている。窓際には、花のポットが飾っており、利用者、職員と一緒に水やりを行っている。転倒防止のマットが敷かれ、安全への配慮と、居心地良い居室作りを支援している。		